



この一般質問の映像は
こちらから

■ コロナ禍における雇用対策について



齋藤 則人

質問

コロナ禍における離職状況は

町 現在は把握していないが情報を収集する

多くの事業者が営業不振に陥っているが、町内における従業員の離職状況は。

答 (観光商工課長) 解雇や雇い止めといった町内の状況は把握していない。

問 経済4団体や各種団体等と連携、協力し、集計等を取り把握していく考えは。

答 (観光商工課長) 現在、町には離職状況といった数字は上がってきていない。今後、商工会や観光協会等と相談、協議しながら情報を集めていきたい。



問 経験豊富な人材を短期的にでも、観光行政のサポートに活用する考えはないか。

答 (観光商工課長) ボランティア的な協力体制は可能だが、給与等が発生してくると、ハローワーク扱いになる。

問 自治体の業務に緊急雇用する考えは。

答 (副町長) 財政的には厳しい面はあるが、今後の状況においては、対応していきたい。

■ コロナ禍における雇用対策について

質問

雇用対策に係わる町の支援は

町 雇用保険制度や貸付制度を案内

問 離職者に対し、現状どのような支援をしているか。

答 (観光商工課長) 雇用保険制度や社会福祉協議会の貸付制度等を案内している。

問 資格を生かした支援策を講じる考えは。

答 (総務課長) 資格や専門知識を町の業務の中で生かせる職種の募集、採用に可能な支援は行っていきたい。

問 雇用確保や地域経済のため、国に対して要望活動を行う考えは。

答 (企画財政課長) 臨時交付金の継続交付が期待される。町村会なども通し、町長のトップセールスで要望していきたい。



貸付制度を行っている窓口 (商工会)

問 農家の人手不足対策に、那須町農業公社を通し、観光業従事者を雇用斡旋する考えは。

答 (町長) 現在のところ考えていないが、今後は情報の収集に努める。

問 観光、農業、土木建設や経済4団体と横の連携を図り、対応を構築する考えは。

答 (農林振興課長) 組織化による構築は考えていない。